知ってた!? 隠れたまちの

市内の知られざるスポット を調査してきました

34年前の緑化フェアの回影

第40回全国都市緑化仙台フェア「未来の杜せんだい2023」が開幕 しました。仙台で開催されるのは2回目で、1回目は平成元年に「'89 グリーンフェアせんだい」として七北田公園を主会場に行われました。 今でもこの周辺では、当時のフェアの面影を感じることができます。





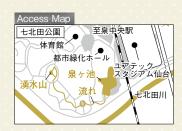
公園の中に泉ケ岳と太平洋?

七北田公園内には、「湧水山」「流れ」「泉ヶ池」 と呼ばれる水辺があります。休憩や散策の場とし て多くの方に親しまれているこれらは、前回の緑 化フェア時に、それぞれ泉ケ岳、七北田川、太平 洋をイメージして造られました。「湧水山」の階 段状の滝で水が豪快に流れ落ちる様子や、「流れ」 のせせらぎ、「泉ヶ池」の噴水の爽やかな水しぶ きなど、涼感に癒やされながら休息する人でにぎ わいました。

今回も、七北田公園は連携会場として緑化フェ アを盛り上げます。前回のフェアに思いを巡らせ ながら、園内を回ってみるのもオススメですよ。



▲前回の緑化フェア時の湧水山





泉ヶ池の噴水は、現在は主に土・日曜日、 祝休日に稼働し、訪れた人を楽しませてい



泉図書館前のモニュメント





▲砂の糸が時を刻む当時の様子



泉中央で眠る「80日間砂時計」

泉図書館前にあるピラミッド型のモニュメント をのぞくと、大きな砂時計が見えます。高さ5.5 メートルもあるこの砂時計は、前回の緑化フェア でシンボルとして展示されていたものです。人と 自然が共に過ごす時の流れを表し、「緑の惑星・ 地球」を取り戻そうという願いが込められていま す。フェアが開かれていた80日間、時を刻み続け、 当時世界新記録を達成したそのスケールに来場者 は圧倒されていたそうです。

悠久の時の流れと、緑を守り育てることへの思 いを体現した砂時計。現在は役目を終え、泉中央 で静かに杜の都の歩みを見守っています。

食べる力を育む 🍴 せんだいレシピ帖

自家製ふりかけ だし殻で!



食を通じてエコな暮らしを提 案する「せんだい食エコリーダ 一」考案のレシピです。だしを 取った後のだし殻を使って、ふ りかけを作ることができます。

材料(1~2食分)

だし殻…パックだし1個分

(約20グラム)

砂糖・しょうゆ・みりん

…各小さじ1

…小さじ3 水

いりごま(白)…小さじ1

青のり …小さじ1

ごま油

…少々

作り方

- 11小鍋にだし殻と砂糖、しょうゆ、みりん、水を入れ、 弱火にかけながら混ぜる
- 2煮立ったらさらに火を弱め、汁気がなくなるまで混ぜ
- 3汁気がなくなったら、いりごまと青のりを加えていり、 最後にごま油を加えて軽く炒める



食品ロス削減など、食べ物を大切にし、環境に 配慮した食生活を実践することも「食育」の一 つです。5月30日は「ごみゼロの日」。だし殻 は捨てずに、おいしく食べきりましょう

※ワケルネットhttps://www.gomi100.com/では、他にも食 品ロスを減らすためのアイデアレシピを紹介しています 問家 庭ごみ減量課☎214.8229